



# 南中だより

教育目標 愛 勉学 自主性 健康

令和2年7月10日

東久留米市立南中学校

校長 小川 高弘

## 「学校の新しい生活様式」に向けて

校長 小川 高弘

3か月の臨時休業が開け、学校が再開されて約1か月が過ぎました。分散登校から始まり、スクールランチの再開、部活動の開始など、従来の学校生活に徐々に戻りつつあります。しかし、運動会をはじめとする1学期の行事は、中止もしくは延期となり、学習以外の生徒の楽しみも半減しています。部活動においても、運動部の全国大会の中止を受け、続けて関東大会、都大会も中止となりました。都大会が中止となったことで、その予選であったブロック大会も中止となっています。また、合唱部が毎年参加しているNHK全国学校音楽コンクール、南中地区青少協主催の「みなみちゃんまつり」「いもの苗植え」なども中止となり、3年生にとっては、3年間の活動を締めくくる場が失われたままになっています。そこで、運動部に関しては、東久留米市教育委員会、東久留米市立中学校長会、東京都中学校体育連盟東久留米支部で協議し、規模を縮小した代替大会の開催を検討中です。全ての競技で開催することはできませんが、開催できたら、これまでの成果を発揮することを期待しています。

学校生活と並行して、3年生にとっては、進路決定という先延ばしにできない大切な時期でもあります。多くの高校で、説明会や相談会がオンラインでの実施となり、情報収集の機会が狭められています。しかし、その状況は都内の中学3年生は誰も同じです。保護者の方々と一緒に、進路を切り開いてほしいと思います。東京都教育委員会は、臨時休業の実施を踏まえた配慮事項を発表し、その中で学力検査における「出題範囲から除外する内容」が示されました。

(詳細は、東京都教育委員会ホームページでご覧になれます。) 一方、都内の私立学校は基本的に広域募集であり、特定地域の公立学校に準じて出題範囲を指定することはできないとしています。私立学校の受験では、入試問題の出題方針等も含めて、受験校を選択するようにお願いいたします。

学校生活は平常に戻りつつありますが、コロナウイルスの感染拡大が終わったわけではありません。7月に入ってからも、連日のように都内の新規感染者は100人を超えています。学校でも、「新しい生活様式」を踏まえて消毒等を行っていますが、教室の机間はずっと2mも離れていませんし、休み時間や部活動では生徒同士の距離が近付いています。7月6日、都内公立中学校に通う生徒1人がコロナウイルスに感染したとの報道がありました。家族が陽性となったためPCR検査をしたそうです。一般的な中学生の生活の中では、感染するリスクは低いと思われませんが、通勤通学する家族はそのリスクが高まっています。もしも感染、もしくは感染の疑いがあると判明した場合は、裏面の表のように対応いたしますので、必ず学校にお知らせください。

感染者	措置	期間
生徒	出席停止	治癒するまで (医療機関ないし保健所の 判断に基づく)
教職員等	出勤させません	
それ以外の学校関係者	校内への立入禁止	
学校	消毒のため臨時休業	消毒後は、保健所等と相談 の上、別途判断する。

感染の疑いがある場合 (濃厚接触者と特定される等)	措置	期間
生徒	出席停止	感染がないと 確認できるまで
教職員等	出勤させません	
それ以外の学校関係者	校内への立入禁止	
学校	原則として臨時休業は実施しない	

3月からの約3か月、学校生活から離れていたため、学校生活のリズムや集団生活にまだ慣れていない人もいます。何事も問題なく、毎日の生活を送ることができている人はとても少なく、誰でも何かしらの悩みや心配を抱えています。先週から読売新聞では、子供の頃に辛い思いをした著名人が今、辛い人たちへのメッセージを寄せています。7月6日(月)の放送朝礼で、その中の一人、お笑いトリオ「ジャングルポケット」の斉藤慎二さんのメッセージの一部を紹介しました。

小学3年生から中学生の頃まで、いじめを受けていました。小3の夏、虫捕りに誘われました。「これで、いじめは終わったんだ」とうれしくて舞い上がって、待ち合わせ場所に早めに行って待っていると、木の陰から一斉に人が出てきて「お前が虫だ」とたたかれました。泣くと、「俺らが悪いみたいになるじゃないか。笑えよ」と言われ、無理やり笑いました。

いじめを受けていることは、1歳上の兄に相談していました。優しい兄なのですが、「親には言うな」と口止めされました。両親は共働きで忙しかったので、迷惑をかけてはいけない、心配をかけてはいけないと思い込んでいたのです。

長く耐えてきたけれど、やっぱり学校に行くことが怖い。限界だと感じたある日、異変に気づいた兄が駆けつけてきて、「何やってるんだ。死んだら全てが終わる。絶対、時間が解決してくれるから」と叱られました。時間は長くかかったけれど、高校に進学して人間関係が一新されると、いじめは本当に終わりました。

振り返ると、僕も兄も完全に間違っていました。親に早く相談するべきだった。

僕はこれからも芸能界で頑張っていきます。皆さんに笑いを届け、少しでも勇気を与えられる存在になれたらうれしいです。  
(一部省略)

学年の中央ホールには、新聞が毎日4紙置かれています。校舎内を巡回していると、2年生の中央ホールで、斉藤さんの記事のページが開かれたまま置いてありました。他のメッセージを読もうと思った人がいたようです。南中で、同じことを起こさないという意識を生徒全員がもってほしいと思います。